

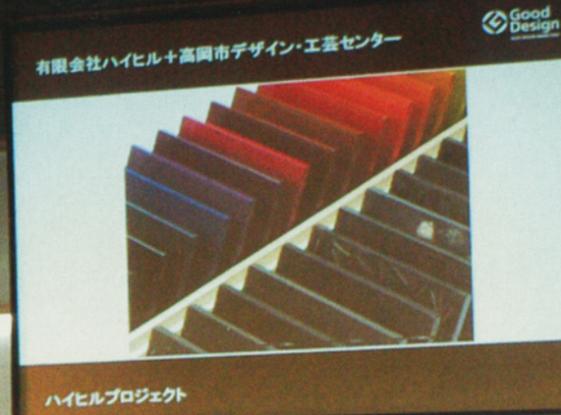


「特集①」

地場活性化と技術を売る仕組みづくりで、

グッドデザイン賞特別賞受賞。

新しい市場開拓に挑む技術集団「エエエエ（ハイヒルプロジェクト）」



高岡市デザイン・工芸センターと地場の問屋、職人、デザイナーが共同で進めるハイヒルプロジェクトが、最近一つの大きな成果を挙げた。「地場活性化の新しい仕組みづくり」が日本産業デザイン振興会主催のグッドデザイン賞特別賞（日本商工会議所会頭賞）を受賞したのだ。高岡銅器や漆器、ガラスの技術を商品開発に生かすビジネスモデルを構築した点が評価された。

ハイヒルプロジェクトは、高岡市デザイン・工芸センターが取り組む「新クラフト産業デザイン育成支援事業」の一環として、1999年からスタートしたもの。地場産業の活性化を目指し、当センターと地場の問屋や職人、デザイナーが共同で高岡の新ブランド「HiHill」を立ち上げ、'03年10月に有限会社ハイヒルとして法人化。「技術を売る」というコンセプトのもと、全国の建築やインテリアなどの業界をターゲットに金属、漆、ガラスを生かした素材の売り込みを展開している。

中でもユニークな試みは、職人の優れた技術をアピールするマテリアルプレート（表面処理見本）の商品化だ。開発の際には、東京のデザイナーやプロデューサーを招いた研究会を定期的実施。メンバー全員が対等な立場で評価し

合うことで、多くの新技法や表現方法がデザインされた。プレートは全部で190種（金属40種、漆140種、ガラス10種）。和紙や金箔を張り込んだ漆、マルモの結晶を出した真鍮、米ぬかを塗って焼き模様を出した青銅など、建築やインテリアに限らず、プロダクトデザインなどにも幅広く活用できそうなものがたくさん揃っている。プレートの裏には技法や価格、納期などが記載されており、ユーザーが商品化のコストを計算するのにも便利だ。

これまでに、東京目黒のホテル「クラスカ」に採用されるフロントのカウンターボードや照明器具を制作。この他にもクリナップのキッチンボードやマンションのエントランスホールなどにも用いられるなど、ハイヒルの素材と技術そして新しい売り方が、地場に新たなビジネスチャンスをもたらし始めている。世界的に権威のある「グッドデザイン賞」の特別賞に選ばれたのも、こうした活動が認められた結果であろう。

ハイヒルでは、今後も積極的に技術を売り込み、高岡の伝統素材を建築やインテリア、プロダクトデザインなど、幅広くデザインの現場に生かしていきたいと考えている。

'04 「グッドデザイン賞特別賞」受賞

ハイヒルプロジェクトの地場活性化の新しい仕組みづくりを2004年度グッドデザイン賞の新領域デザイン部門に申請。この活動が高く評価され、特別賞の日本商工会議所会頭賞を受賞した。また、「Japan Home & Building Show 2004」や「東京国際家具見本市 2004」へ出展し、さらなる市場開拓を展開した。

'03 「有限会社ハイヒル」設立

ブランドの知名度アップと市場開拓を求めて、素材見本市「IPEC21 2003」や「東京国際家具見本市 2003」へ出展。ハイヒル研究会の21事業者（個人・企業）で、金属、漆、ガラスなどの素材による建築内外装材やインテリア小物などの商品開発、デザインの受託及び製作販売事業を営む「有限会社ハイヒル」を設立し、商品化の推進と受注体制の整備を図った。

'02 HiHillブランド、東京展で発表

高岡銅器や漆器の有志企業10社によるハイヒル研究会を結成し、商品開発の成果品と表面処理素材を高岡ブランド「HiHill」として東京のリビングセンターOZONEで発表。これまで伝統産業に縁遠かった建築や自動車、家電などのプロユーザー（建築家やデザイナー）の関心が高く、具体的な受注や技術提携の依頼を受けた。

'01 金属、漆、ガラスの商品開発

新商品開発会議のメンバーに高岡漆器の企業有志が新たに加わり、金属、漆、ガラスの伝統的な表面処理技法のサンプル化や新技法の研究を実施。これらの素材を用いて猪口やトレー、照明、小箱などのインテリア小物の開発も積極的に行った。

'00 ブランド名「HiHill」決定

高岡銅器の企業有志による新商品開発会議を設け、東京からプロダクトデザイナーやデザインプロデューサーを招いて、鉛レス素材を用いた金属製食器の開発を実施。高岡の産地イメージを高めるブランドマーク「HiHill=高岡」に決定。

'99 ハイヒルプロジェクトの前身

高岡銅器の企業有志による鉛レス素材開発研究会を発足。環境に配慮した鉛レス銅合金の開発をスタートした。



Good Design

グッドデザイン賞とは、1957年に当時の通商産業省が設立した「グッドデザイン商品選定制度」を継承し、1998年に（財）日本産業デザイン振興会がスタートさせた総合的なデザイン評価・推奨制度。デザインが優れたものを選定し、受賞した商品にはGマークの使用が認められる。